

〔大学院〕申込みのしおりー 2025 年度予約採用 ー

■ 申込資格等 : 『貸与奨学金案内』 p.7

申込日現在で、2025 年 4 月に大学院（修士・専門職・博士課程）に入学内定（合格、一次合格含む）した人

※ ただし、以下の人は申込資格がありません。

※ 家計基準を越える場合、不採用となります。『貸与奨学金案内』 p.8 を参照してください。

- ・ 過去に同奨学金の貸与を受けて、返還誓約書未提出、返還を延滞中、代位弁済が行われた人
- ・ 債務整理中の人
- ・ 外国籍の人

※在留資格が「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」の人は申込みできます。

※「定住者」「家族滞在」の人は申込できる場合があります。

詳しくは『貸与奨学金案内』 p.7 ,25 を参照してください。

■ 申込書類 :

書類 1～6 は下記の URL からダウンロードしてください。

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/welfare/h02_01_02_04.html

書類 7「マイナンバー提出書」は所属キャンパスの奨学金担当部署にて配布します（下記問い合わせ先参照）。

遠方にお住まい等、キャンパスでの受け取りが難しい方は、郵送にて対応いたしますので担当部署にメールにてお問い合わせください。

なお、提出先が他の書類と異なるため、十分注意してください。

1. 『貸与奨学金案内』（冊子）
2. 〔大学院〕申込みのしおり-2025 年度予約採用-（本紙）
3. 2025 年度日本学生支援機構大学院奨学生出願票
4. 2025 年度スカラネット入力下書き用紙
5. 確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書
6. 機関保証制度ちらし
7. マイナンバー提出書（所属キャンパス奨学金担当部署にて配布）

■ 問い合わせ先

【A】総合文化研究科・数理科学研究科に内定した方

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3－8－1

東京大学教養学部等学生支援課奨学資金チーム

Email : s-shikin.c@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

【B】上記【A】以外の研究科に内定した方

〒113-8654 東京都文京区本郷 7－3－1

東京大学 本部奨学厚生課 奨学チーム JASSO 担当

Email : syougaku.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

■ 申請の流れ ※『貸与奨学金案内』記載の手順と異なります ※

1. 申込書類の確認

以下の書類を熟読する。

- ・『貸与奨学金案内』（冊子）
- ・〔大学院〕申込みのしおり（本紙）

2. 申込書類の準備・作成 → 本紙 p.4 以降 及び『貸与奨学金案内』を十分確認のうえ、ご準備ください

- ☐ 申込書類の記入を誤ったときは、二重線で取り消しのうえ、丁寧に書き直してください。
(修正液は使用不可)
- ☐ 申請書類はすべて黒色または青色のペンで丁寧に記入してください。(消せるペンは使用不可)
- ☐ 提出書類は返却できませんので、必要に応じて提出前にコピーをおとりください。

3. スカラネット入力 → マイナンバー提出書の JASSO 宛郵送（スカラネット入力から1週間以内）

スカラネット
入力下書き用紙

<確認書兼同意書の提出>画面
では「提出しました」を選択し
て入力を進めてください。

【入力期間】

10月2日（水）8:00 から 書類提出前 まで

【スカラネット】

<https://www.sas.jasso.go.jp/scholarnet/>

【入力用ユーザ ID とパスワード】

ユーザ ID : 10400302 ※法科大学院 : 10400360

※総合文化研究科・数理科学研究科 : 10400301

パスワード : xiz7b5s9

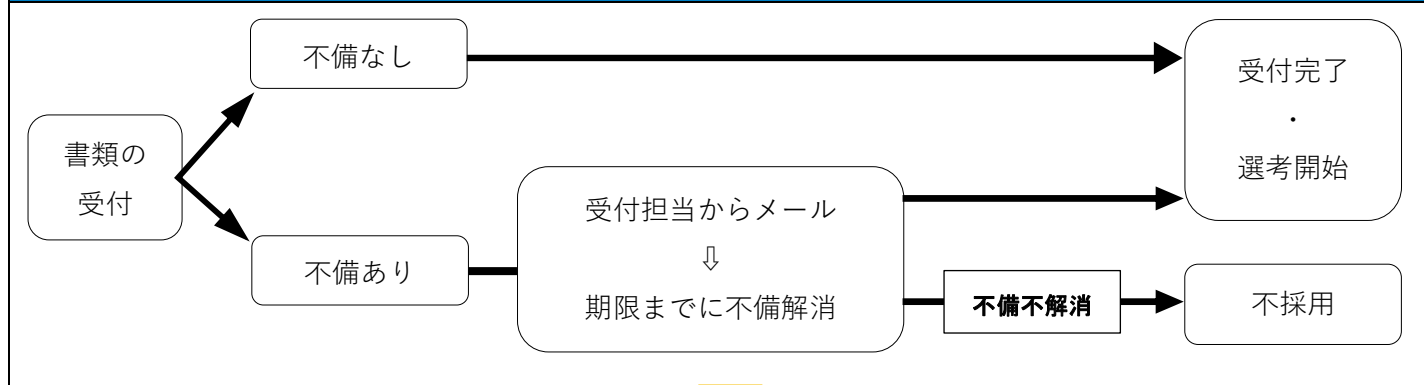
4. 書類の学校提出（「マイナンバー提出書」以外）

出願票

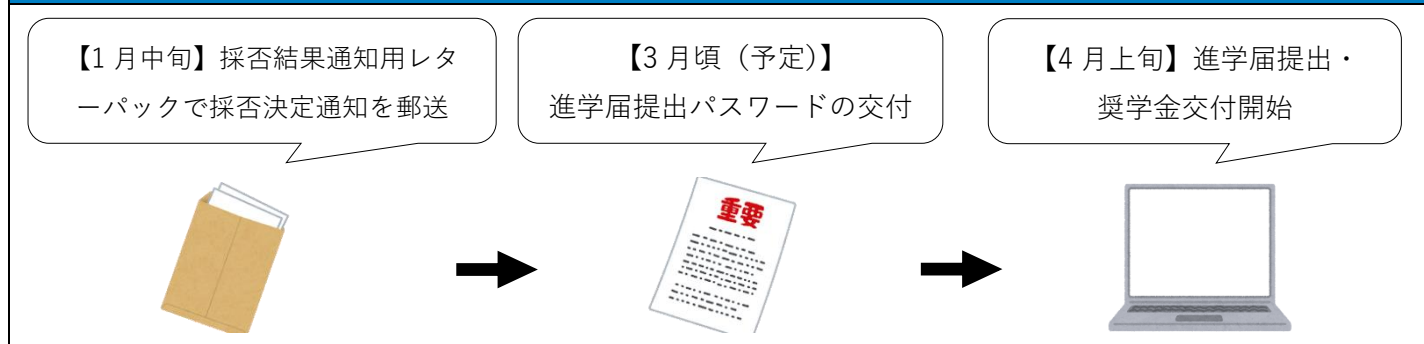
書類受付期間は次ページでご確認ください

「出願票」を一番上に順番に重ねて、
不足や不備がないか提出前にご確認ください。

5. 不備解消



6. 結果通知から採用まで



■ 書類受付期間

研究科	書類受付期間	受付場所
【A】 総合文化研究科 数理科学研究科	2024年10月10日（木） ～10月17日（木） ※最終日消印有効	〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学 教養学部等学生支援課 奨学資金チーム
【B】 上記以外の研究科		〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 本部奨学厚生課 奨学チーム JASSO 担当 (郵送受付のみ)

注意事項

- (1) 郵送での受付となります。
- (2) 封筒に「**JASSO 大学院予約採用 申込書類在中**」と朱書きのうえ、送付してください。
- (3) 書類の受付連絡は行っていません。できるだけ記録の残る形式（簡易書留等）で発送のうえ、到着をご確認ください。書類が届かなかった等の郵便事故については一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- (4) 10月17日の消印がついていても、国際郵便等のため10月24日（木）以降に到着した場合は受け付けられませんのでご注意ください。
- (5) 提出書類は返却できませんので、必要に応じてコピーをおとりください。
- (6) マイナンバー提出書は大学へ送付せず、専用の封筒に入れて簡易書留で日本学生支援機構へ直接ご郵送ください。

■ 申込書類の準備・作成

マイナンバー提出書（紫色の封筒）

- ☐ マイナンバー提出書のセットのうち「マイナンバー(個人番号)」の提出方法」をよく読み、準備してください。
- ☐ 「マイナンバー提出書」の提出先は学校ではありません。必ず専用封筒により、郵便局窓口から簡易書留で直接日本学生支援機構へ郵送してください。
- ☐ 「マイナンバー提出書」は、スカラネット入力でを使用した ID 等が記載されたもの以外は使用できません。
- ☐ マイナンバー提出についてわからないことがあるときは、以下のコールセンターまでご連絡ください。
また、提出した書類に不備がある場合は、コールセンターから連絡がありますのでご対応ください。
● 0570-001-320（ナビダイヤル）（平日 9:00～18:00）

注意

次のいずれかに該当する場合、『貸与奨学金案内』を参照のうえ、申込時に必要書類を追加でご提出ください。

ア. 2024 年 1 月 1 日時点で、国内に居住していない生計維持者（本人または配偶者）がいる場合

イ. 海外赴任等によりマイナンバー関係書類の提出ができない場合

▶ 『貸与奨学金案内』 p.25,29

進学前離職の特例措置の証明書（該当者のみ）

申込者本人が進学のために進学前 1 年以内に離職または無給休職したことにより収入が減少している場合、特例として申込者本人の所得を選考に算入しないことが可能です。特例を希望する場合、スカラネットで申請のうえ「貸与奨学金案内」 p.30 に記載の必要書類を提出してください。

出願票

- ☐ 必要事項を記入のうえ、書類の提出前に点検してください。

確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書

- ☐ **必ず記入面と約款が両面印刷となるようにして使用してください。**
- ☐ 「課程」欄には修士、博士または専門職と記載し、「研究科」欄に進学予定の研究科を記載ください。
- ☐ 「氏名」欄は自署が必要です。PC 等での入力は不可です。
- ☐ 「進学予定の大学院学校番号」欄は空欄でかまいません。
- ☐ 必要事項の記載漏れが多いため、ご注意ください。

スカラネット入力下書き用紙

- ☐ 入力前に内容を記入し、入力後の受付番号を表面に記入してください。
- ☐ P5 の③-1-(4)及び表紙の「専攻コード」は未記入（未入力）としてください。
- ☐ P10 の⑩及び⑪は下書き不要ですが、入力の際にタイムアウトしないよう入力内容を事前にご準備ください。
- ☐ P5 の④-1-(4)及び表紙の「学籍番号」は「受験番号」としてください。

通帳のコピー

- ☐ 奨学金の振込に使用する口座の支店名・口座番号・名義（カナ）が確認できる部分のコピーを「スカラネット入力下書き用紙」p.12 に貼り付けて提出してください。（通帳がない場合は、キャッシュカードのコピーも可）
- ☐ スカラネットで「振込口座情報」の入力を誤ると初回振込が1ヶ月以上遅れますのでご注意ください。

成績証明書

- ☐ 次の成績証明書（**原本1通**）を提出してください。
 - 修士・専門職課程 入学予定者 → 大学学部（4年分）の成績証明書
 - 博士課程 入学予定者 → 修士課程（2年分）の成績証明書
 - 医・獣医・薬学博士 入学予定者 → 学部（6年分）または 学部（4年分）＋修士（2年分）の成績証明書
- ☐ **1年次から申込み時点までの**直近の成績が記載されている成績証明書をご提出ください。
- ☐ 編入学・転学部・学士入学者は、編入学等以前の証明書もあわせて添付してください。
- ☐ 海外の学校の出身者は、証明書の日本語訳（様式自由・本人作成可）を添付してください。

採否結果通知用レターパック

- ☐ 1月中旬に採否結果を大学から通知しますので、1部ご用意ください（レターパックライト・プラスいずれでも可）。レターパックは、一部のコンビニまたは郵便局等で購入することができます。
- ☐ レターパックには下記の内容を記入のうえ、申込書類に同封してご提出ください。
提出時の封筒に入れる際は、レターパックを二つ折りにしていただいてもかまいません。

記入欄	記入内容
郵便番号・お届け先 To	必ず郵便物を受け取れる住所・氏名等を記入 【注意】おなまえの「様」は削除しないでください。
ご依頼主 From	空欄とし、何も記入しないでください。
品名	「書類」と記入してください。

※「ご依頼主様保管用シール」は剥がさず、また、封はしないでください。

※ 申請後、結果通知までに住所変更した場合は、変更後の送付先住所を p.1 の問い合わせ先までお知らせください。

※ レターパックは 2024 年 10 月 1 日から郵便料金が変わります。料金変更後のレターパックをご使用ください。料金変更前に購入された場合は差額分の切手を同封してください。

在留資格に関する証明書【該当者のみ】

- ☐ 日本国籍**以外**の方は、在留資格・在留期間が明記された、「在留カード」の両面コピー または「住民票（在留資格が記載されたもの）の写し」の原本をご提出ください。
- ☐ 上記の書類に加えて「家族滞在」に該当する場合は「出入国記録の写し」の原本が必要です。「家族滞在」について詳しくは『貸与奨学金案内』p25 をご参照ください。

■ 授業料後払い制度について

詳しくは『貸与奨学金案内』P.10~をご確認ください。

申込資格等

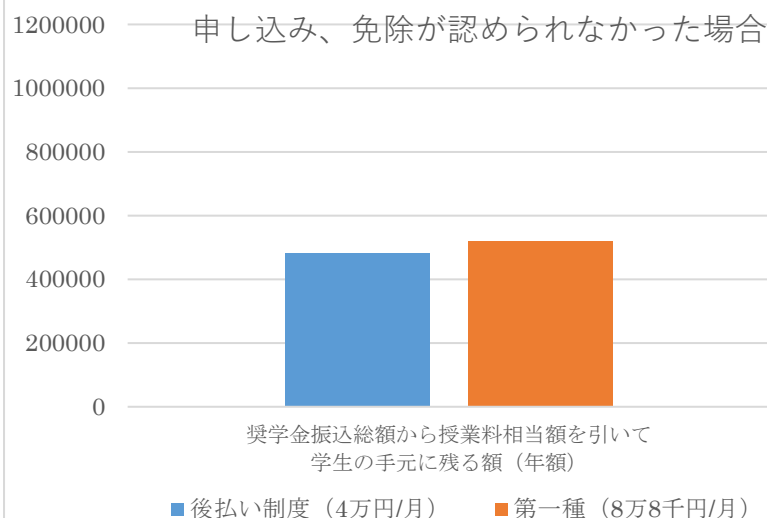
- 2024（令和 6）年度入学者から国による大学院修士課程（博士前期課程及び専門職学位課程を含む）を対象とした「授業料後払い制度」が導入されることになりました。授業料後払い制度を利用する場合、**日本学生支援機構第一種奨学金（無利子）の貸与を受けることができません**。第二種奨学金（有利子）の貸与は可能です。
- 授業料後払い制度は東京大学独自の授業料免除制度と併せて申込みできます。
- 授業料後払い制度は、修士課程相当（法科大学院、専門職学位課程を含みます）でのみ利用できます。その他の申込資格は第一種奨学金と同様です。

制度概要

- 授業料後払い制度は、授業料支援金（大学に直接振り込まれます）と生活費奨学金（学生の口座に振り込まれます）を無利子で貸与する制度です。貸与終了後、貸与奨学金として所得に応じた金額の返還が必要です。
- 東京大学独自の授業料免除が認められた場合、授業料後払い制度における授業料支援金は免除後の額しか振り込まれず（全額免除になった場合は当該学期の授業料支援金は振り込まれません）、学生に振り込まれる生活費奨学金が増額されることはありません。
- 機関保証への加入が必須です。人的保証は選べません。また返還方法は「所得連動返還方式」のみです。詳しくは『貸与奨学金案内』P.14 を参照してください。
- 年度途中で第一種奨学金に変更はできません。別の年度に改めて申込が必要です。
- 貸与期間が年単位で計算されるため、途中で休学や辞退をした場合、途中から新たに第一種奨学金の申請ができなかったり、標準修業年限分の貸与を受けられないことがあります。
- **第一種奨学金を選択したほうが学生の口座に振り込まれる金額は多くなりますので、よくご検討のうえ、申し込む奨学金をお選びください。**

学生の手元に残る奨学金年額の一例

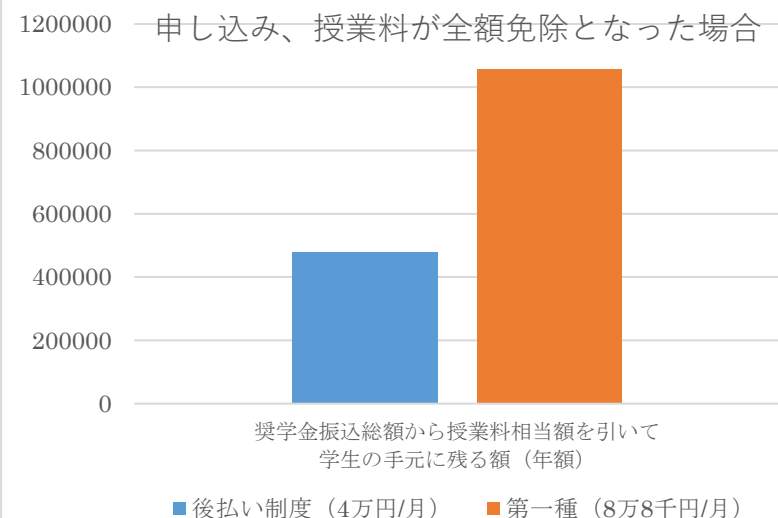
【グラフ1】 東京大学独自の授業料免除制度に
申し込み、免除が認められなかった場合



左の【グラフ1】は、授業料後払い制度を選んだ場合に学生本人に振り込まれる生活支援金の年額と、第一種奨学金を選んだ場合に貸与額から授業料相当額を引いて学生の手元に残る年額になります。

それぞれ選択可能な最高額を選んだ場合の金額です。

【グラフ2】 東京大学独自の授業料免除制度に
申し込み、授業料が全額免除となった場合



左の【グラフ2】は、授業料後払い制度を選んだ場合に学生本人に振り込まれる生活支援金の年額と、授業料全額免除となった場合に学生の手元に残る第一種奨学金貸与額の年額になります。

それぞれ選択可能な最高額を選んだ場合の金額です

その他、授業料後払い制度について、下記ウェブページを随時更新いたしますので、定期的にウェブページをご確認ください。現在掲載している内容についても変更される可能性がありますので、ご注意ください。

【授業料後払い制度について掲載ホームページ】

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/welfare/h02_01_02_14.html



■ その他

● 予約採用について

- (1) 申込時に記載した研究科等以外へ入学した場合、奨学金採用候補者として内定しても、その権利は無効となります。申込時の研究科等以外へ進学した場合は、春季（4月初め）に行われる「在学採用」に再度お申し込みください。
- (2) 採否結果通知の送付は 2025 年 1 月中旬を予定しています。2 月上旬までに通知が届かない場合は、必ず申込受付部署にお問い合わせください。
- (3) 初回振込後に「返還誓約書」を配付します。「返還誓約書」は必要な書類を添付し、定められた期限（2025 年 5 月下旬 ～ 2025 年 6 月上旬（予定））までに作成のうえ、提出が必要です。提出できない場合、奨学金を全額返金のうえ、採用が取り消しとなります。

● 奨学金貸与・返還シミュレーション

本奨学金は貸与のため、返還が必要です。家庭の経済状況やあなたの人生・生活設計に基づき、将来返還する義務があることを十分考慮して貸与額の選択、申込みをしてください。

なお、JASSO の以下のウェブページでは返還額の試算ができますのでご活用ください。

<https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/index.action>



● 返還免除制度（概要は『貸与奨学金案内』 p.13）

※ **第二種奨学金は、返還免除制度の対象外です。**

	A：特に優れた業績による返還免除	B：返還免除内定制度
申請資格	貸与が終了する 大学院 第一種奨学生	入進学し採用された 博士課程 1 年次 第一種奨学生
申請時期	募集は研究科等で行われ、申請時期は研究科等や募集年度により異なります。 (A は貸与終了年度、B は入学年度（採用年度）の募集への申請となります)	
備考	評価方法等は以下の Web サイトを参考と してください。	内定者は、貸与終了年度に「A：特に優れた業績による返還免除」への申請が必須です。

修士課程および専門職学位課程に対する返還免除内定制度の 2025 年度（令和 7 年）進学予定者の申請に関しては、日本学生支援機構から通知があり次第、以下の Web サイトにてお知らせします。現在は 2024 年度（令和 6 年）進学者むけの情報が掲載されています。申込時期が前年と異なる可能性があるためご注意ください。

【返還手続（返還免除制度・返還猶予）】

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/welfare/h02_01_03.html



2023（令和5）年度以降新たに、大学院博士課程において第一種奨学生として採用された人で、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」又は「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代 AI 人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」（以下「フェローシップ等」という。）の支援を受ける人は、日本学生支援機構の「特に優れた業績による返還免除制度」の対象外となります。

※ 過去にフェローシップ等の支援を受けた人が、その支援を辞退した後に、2023（令和5）年度以降新たに日本学生支援機構へ採用された場合など、フェローシップ等と日本学生支援機構の期間が重なっていても「特に優れた業績による返還免除制度」の対象外となります。

※ 他大学等の博士課程においてフェローシップ等の支援を受けた人も、2023（令和5）年度以降新たに日本学生支援機構へ採用された場合「特に優れた業績による返還免除制度」の対象外となります。

【特に優れた業績と評価方法】

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/seidogaiyo/hyoka.html>



【東京大学における「次世代研究者挑戦的研究プログラム」】

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/special-activities/spring_gx.html



【東京大学における「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」】

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/special-activities/utokyodoctorfellowship0001.html>



【東京大学における「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代 AI 人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」】

<https://spring-gx.adm.s.u-tokyo.ac.jp/ja/boost/>



「未来社会協創国際卓越大学院」、「統合物質・情報国際卓越大学院」、「量子科学技術国際卓越大学院」、「知能社会国際卓越大学院」、「社会デザインと実践のためのグローバルリーダーシップ養成国際卓越大学院プログラム」の中で、東京大学博士フェローシップの支給を受けている人は、上記フェローシップ等からの支援対象者であるかどうか分からない場合は、所属する上記の卓越大学院プログラム事務へ確認してください。

● 2024 年度貸与終了者より教師になった者を対象にする新たな返還免除制度が実施されます。具体的な内容が決まり次第掲載ウェブページを随時更新いたしますので、定期的にウェブページをご確認ください。現在掲載している内容についても変更される可能性がありますので、ご注意ください。

【教師になった者に対する奨学金返還支援について】

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/welfare/h02_01_02_15.html

